

受 験 番 号		氏 名	
------------	--	-----	--

高度実践助産コース(助産師免許取得プログラム) 解答用紙

問題 1

解答例

1) 周産期死亡率

妊娠満 22 週以後の死産と、生後 0～6 日の早期新生児死亡の合計を、〔出生数＋22 週以後の死産数〕で割り×1,000 した率。母子保健指標。

2) 母体保護法

母体の生命・健康を守るため、指定医師が人工妊娠中絶や不妊手術を行う条件等を定めた法律。健康障害や暴行妊娠等で配偶者同意が原則。

3) 産後うつ病

出産後に発症するうつ病。抑うつ気分や不眠などがあり、母子関係や育児に影響する。多くは産後 1 年以内に発症し、DSM-5 では産後 4 週以内を周産期発症とする。

4) 妊娠高血圧症候群 (HDP)

妊娠 20 週以降に収縮期 140 以上または拡張期 90 以上の高血圧を発症し、産後 12 週までに消失する。蛋白尿や臓器障害を伴えば子癰前症。

5) 妊娠糖尿病 (GDM)

妊娠中に初めて診断される糖代謝異常(顕性糖尿病を除く)。75gOGTT で空腹時 92 以上、1 時間 180 以上、2 時間 153 以上のいずれかで診断。

受 験 番 号		氏 名	
------------	--	-----	--

高度実践助産コース(助産師免許取得プログラム) 解答用紙

問題 2 (解答欄は 2 ページに分かれます 1/2)

問 1

2

問 2

2

問 3

3

問 4

4

問 5

2

問 6

2

問 7

1

受 験 番 号		氏 名	
------------	--	-----	--

高度実践助産コース(助産師免許取得プログラム) 解答用紙

問題 2 (前ページからの続き 2/2)

問 8

1

問 9

2

問 10

3

受 験 番 号		氏 名	
------------	--	-----	--

高度実践助産コース(助産師免許取得プログラム) 解答用紙

問題 3

評価のポイント

背景・現状の明確化、課題・要因の分析、助産師の役割・解決策の具体性が論理的に展開されているか。

以上